

# 米軍基地設置への協力撤回と府民の安全・安心求め

## 「府民の会」が京都府に要請・申し入れ



10月23日 京都府に申し入れする「府民の会」代表

**10**月23日、府民の会は、京都府知事に対し、『米軍レーダー基地設置への協力の撤回と府民の安全・安心を求める要請書』【裏面に掲載】を提出し、担当副知事との協議の場を設定するよう申し入れました。

『要請書』では、米軍基地Xバンドレーダーの設置協力に関し、協力の撤回を求めるとともに、①米軍の事前環境評価の実施・公表を求めること、②ドクターヘリ飛行に伴うレーダー停波の車力での手順確認書を公表させること、③政府に車力での実例・実情を提示させること、④米軍基地に関わる要員内訳・居住地の選定方針、基地内外の新たな施設計画を示すこと、⑤交通環境問題で、車力での愚弟的事例を提示させること、⑥日米地位協定の運用実態と交渉課題の説明、⑦知事の「ミサイル防護の万全体制」要請の趣旨と内容について、住民の安全・安心に関わる7項目の問題に回答を求めています。

**い**ま、現地の京丹後市では、防衛省が29日に地権者に対し、土地を借り上げる案を示す説明会が開催されましたが、これまでの経過を知らない担当者が変わるなど、これまでの説明や約束が反故にされる不安が広がっています。そうした中で、1反19万円の賃借料がさらに30万円に引き上げられる、という話もあり、札束攻勢がすすめられています。住民の安全・安心に関わる問題でも、米軍や防衛省から十分な説明もなく、環境調査も求めず、「国が責任ある対応」を約束したと設置協力した府知事・京丹後市長に批判の声が上がるのも当然です。

**申**し入れに対応した京都府・総務調整課・林田参事らは、協議の場の設定について「9月府議会開会中でもあり、今すぐには、回答できない」。「7項目の内容についても、検討し、改めて連絡したい」と答えました。

### 22日 四条烏丸宣伝



22日の四条烏丸の宣伝では、19名が参加、14筆の署名。「あいは野にオスプレイが来て、物騒な世の中になってきた。京都に米軍基地は似合わない」と滋賀の女性の方が署名していただきました。

◆次回の宣伝は、

11月12日(火) 午後5時30分~三条河原町

11月26日(火) 午後5時30分~四条烏丸

### 「米軍基地の京都への設置を問う」学習集会

とき 11月29日(金) 午後6時30分開会

ところ キャンパスプラザ・第一講義室 (JR京都駅・ヨドバシカメラ前)

講師 伊波 洋一さん (前宜野湾市長)

報告と折衷 戸田 昌基 (府民の会事務局長・京都平和委員会理事)

主催: 京都に米軍基地いらない府民の会

京丹後市・経ヶ岬に米軍基地は、いりません

### 平和の叫び&人間のくさり

12月15日(日) 場所: 京丹後市役所前  
午後2時~ リートーク、ヒューマンチェーン、デモ実践など

12月の丹後地方は、雨・雪・みぞれなどが考えられます。十分な準備をお願いします。プラカードなどをもちより、ご参加ください。

主催: 平和の叫び&人間のくさり2・15実行委員会

・発行: 米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称: 京都に米軍基地いらない府民の会)

連絡先: 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター 気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

2013年10月23日  
米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会  
(略称) 京都に米軍基地いらない府民の会  
連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2ラポール京都 5階  
電話075-801-2308 FAX075-812-4149

共同代表

|                        |     |    |
|------------------------|-----|----|
| 米軍基地建設反対丹後連絡会代表        | 岩崎  | 晃  |
| 京都総評議長                 | 吉岡  | 徹  |
| 京都平和委員会会長              | 岡田  | 英樹 |
| 京都自治労連委員長              | 池田  | 豊  |
| 新婦人京都府本部会長             | 森下  | 総子 |
| 自由法曹団京都支部幹事長           | 中村  | 和雄 |
| 安保破棄京都実行委員会代表委員・京教祖委員長 | 河口  | 隆洋 |
| 京都府商工団体連合会会長           | 久保田 | 憲一 |
| 京都民主医療機関連合会会長          | 尾崎  | 望  |
| 事務局長 京都平和委員会           | 戸田  | 昌基 |

米軍レーダー基地設置への協力の撤回と府民の安全・安心を求める要請書

京都府知事が京丹後市長を伴い防衛大臣と協議した際に、米軍レーダー基地受け入れて「政府に責任ある対応の確認を求める」として提示された「確認(条件)」について、府民の会は以下のように考える。

最大の問題は、米軍基地設置協力表明の前提は、米軍が在日米軍基地にかかわって「日本環境管理基準」(JEGS：米軍の環境影響評価調査のこと)にもとづく環境評価を事前に実施して、環境評価報告を住民・府民に提示することである。知事が環境影響評価の事前実施を米軍に求めることを強く要請する。

なお、「日本環境管理基準」の実施については、7月末に井上議員の質問に対する政府答弁書でも、「政府としては、米側が環境保護及び安全への取組を適切に実施するよう働きかけてまいりたい」と答えている。防衛省近畿中部防衛局長名で京丹後市長に回答した文書にも、「政府一体となり真摯にかつ万全に対応して参ります」とあるように、日本政府が、米軍に対して「日本環境管理基準」(JEGS)の実施を行うよう取り組むことが大前提であり、府民の会は強く要求する。京都府知事は、「日本環境管理基準」による米軍の環境評価実施にいかなる立場であるのか、明確に見解を表明すべきである。

知事は、防衛省・政府に対して、電磁波調査の事前実施等について期限を切って求めるべきである。また、その他の事項についても、期限を切って住民・府民への公表を行うよう求めるべきである。

知事の主要5項目について、具体的な確認内容を政府に求め、結果を府民に公表し、広く意見を求めることなく、土地買収やその他の米軍基地設置に向けた具体化について京都府は協力すべきではない。

【京都府に対して確認・要請する事項】

1. 日本政府と米政府に対し「日本環境管理基準」(JEGS：Japan Environmental Governing Standards)にもとづく米軍の事前環境評価の実施と公表を求めること。
2. 民間航空機の飛行制限区域を設けることについて、明確な基準を提示させること。また、救難・ドクターヘリの飛行にあたり、レーダー停波に関わる車力での手順確認書を公表させること。
3. 住民生活に関わる問題として、政府に責任を持って車力での実例・実情について提示させること。
4. 米軍基地にかかわる要員の内訳、居住地の選定方針や基地内外でのあらたな施設計画を示すこと。
5. 交通環境問題で、車力での具体的な事例を提示させること。
6. 政府に、日米地位協定の運用実態と交渉課題を明確に説明するよう求めること。
7. 知事の確認・要請事項に「ミサイルに対する防護体制に万全の体制をとること。テロなどへの警戒・警備体制について、警備のための増員を行うなど、万全を期すこと」とあるが、要請の趣旨と内容について、説明されたい。

以上、京都に米軍基地いらない府民の会として、山田京都府知事に確認・回答を求めるものである。